

研修報告

宮城県山元町及び巨理町の農業施設視察研修

議会では、議員全員にて6月22日・23日の日程で、平成23年3月11日の東日本大震災で発生した大津波により被災した農業施設等の復興状況をテーマとして、両町を視察研修しました。

22日は、農地面積の60% (1,400ha)が浸水し、壊滅的被害を受けたが復興・再生された山元町の「(株)やまもとファームみらい野」のトマト施設園芸ハウスを研修しました。

ここは、平成28年度に国からの交付金事業(東日本大震災復興交付金)により山元町が園芸ハウス施設整備を実施し、(株)やまもとファームみらい野が管理者となり、平成29年3月から運営しているものです。

施設は、室内外の環境変化や予測データ活用に対応した複合環境制御システムを導入し、温度、湿度等コンピュータ管理され、また、夏期はヒートポンプによる夜間冷房をしている。水源については、雨水や地下水を活用し、殺菌した廃液を再利用している施設です。

この施設では、年間生産量300トン、販売額9,000万円を目標をもって進めているところだそうです。



最先端のトマト栽培技術の説明を受ける